

観光ボランティアガイド活動で「三方よし」

サブタイトル

来訪者よし！ ガイド者よし！ 地域の発展よし！ 活動団体よし！

2024年11月6日

レイカディア大学同窓会 草津・栗東支部

小西 慎一



観光ボランティアガイドの社会貢献

➡ 地元だからこそ分かることを来訪者に案内する **来訪者よし！**

地元ガイドが案内する事で来訪者に地域の生活や文化を知ってもらう。

来訪者はガイドブックにはないリアリティーが感じられる。

➡ 地域活性化に繋がる ➡ 新たな観光資源を掘り起す **地域よし！**

行政や商工関係者、地元有志からの情報発信を促進させる。

入場、宿泊、飲食、物品購入など経済的効果があります。

➡ ガイドする事で人的交流が生まれ、生き甲斐や健康促進に役立ちます **ガイド者よし！**

[illegible]

ボランティアガイドの活動紹介(抜粋)

<草津市観光ボランティアガイド協会>

草津市観光物産協会（窓口）

（定点コース）（通年）

草津宿 水生公園みずの森 他

（草津ハイキング）（通年）

街道歩き 史跡を訪ねる 他

草津市観光ボランティアガイド協会（窓口）

草津宿本陣での待受けガイド 毎週（日）

草津市七福神巡り 1月

芦浦観音寺一般公開 5月 11月

梅川忌 （草津市 清浄寺） 11月

他

JR西日本(主催)

DISCOVER WEST 毎週（土）

JRハイキング シーズン都度

草津市、草津商工会議所(実行委員会)

宿場まつり 4月

くさつ華あかりフェスタ 11月

まちなか交流施設運営団体

ひなまつり 3月

七夕 7月

観月祭 9月

ボランティアガイドの重要な要素

■ 人としての印象

約束や規則を守る

来訪者の立場を考える

見出しなみや言葉遣いにも気をつける

■ 案内役と聞き手のコミュニケーション

会話力

説明力

■ 相手の立場に立ったおもてなし

応変力

気配り

ユーモア

ガイドの人間力

知識(研修)の習得

ガイドの力量

実際にガイドする時に気をつけている点

事前確認

- 来訪者は何処から。
- どういう背景（団体）の人なのか。
- 来訪の目的は。
- どの位の時間を予定しているか

ガイド時の注意点

- 細部に渡りすぎる退屈な案内になっていないか。
- 説明が一方的、冗長にならないように気をつける

来訪者からの質問や疑問に答える努力

- 関連するいろんなテーマ・分野・物事について普段から幅広い知識、経験を身につけておく



ボランティアガイドは認知症防止に効果がある！

ワンパターンのガイド案内は進歩なし

＜ガイド個人の努力＞

目標

来訪者への満足度を上げる努力をする

方法

(1)ガイド活動の中で自分の強みを増やす

(2)地域の歴史や文化はしっかり理解する

- | | | |
|-------------|---|-----|
| ●知識の習得 | → | 頭脳 |
| ●史跡、寺院の訪問 | → | 体力 |
| ●イベント、行事の遂行 | → | 交渉力 |

(3)滋賀県内の主要史跡、公共施設なども覚える

＜組織から得る努力＞

滋賀県全体交流会 （開催地のガイドによる交流研修） 1回/年間

滋賀県地域ブロック研修会 1回/年間

他（府県）市観光ボランティアガイド団体との交流会
2回/年間

FMくさつ 出演
*ぐるっとまちあるき 1回～2回/月間

定例会議での勉強会 都度

地域の新たな「観光資源」の発掘で活性化を図る

＜魅力を伝えて来訪者を増やす＞

■ 史跡・旧跡や歴史的建造物のガイドコースの作成

(例)

- ・ 瀬田丘陵製鉄遺跡群のガイド

悠久の昔を偲ぶ古代製鉄遺跡を紹介

- ・ 歴史散歩 ＜常盤・志那エリア＞

縄文や弥生時代の遺跡・遺構も数多く歴史的価値が高い寺院や史跡が多い

① 白鳳時代の大寺とびわ湖の船奉行芦浦観音寺を紹介

② 吉田屋住宅主屋 庄屋（県重要文化財） （1834年頃築）

ボランティアの新規メンバーが何故増えない？

▶ ボランティア活動の定義

- ① 自発的な意思による行動（自主性）（自己実現）
- ② 人との交流による社会貢献（連帯性）
- ③ 活動の報酬を目的としない（無償）
- ④ 創造性のある活動（先駆性）

これからのボランティア活動の課題

➡ ボランティアグループで運用(運営)に差が出る

- ・ リーダーの熱意 ・ 運営資金 ・ 活動内容の見直し ・ 現状に沿った組織作り
- (人間関係) (実費) (求めがあるもの) (規約などの改定)

➡ 継続活動を阻害する要因

- ・ 会員に「経済的余裕」「時間的余裕」「体力・精神的余裕」がなければ継続は難しい
- ・ 70歳前後でのリタイアが主になり、ボランティアの高齢化で活動量が減少傾向
- ・ ボランティア要請は増加傾向にあるが、会員が増えない環境では負担が増える

➡ 対応(案)

- ・ 現役世代(60歳代も含む)も活動に参加しやすい「体制作り」を推進する
無償ボランティア活動 ⇒ 有償ボランティア活動(実費は必要)
- ・ 協働可能な団体組織と連携して活動にあたる。
- ・ 活動組織内で個人の年齢・体力にあった活動を推進する

ガイド協会、みどり燦々会、えにしの会の関わり(考察)

➡ 芦浦観音寺

(草津市)

草津市ボランティアガイド協会



みどり燦々会（同窓会）



芦浦観音寺



レイカディアえにしの会



草津市（行政）

芦浦観音寺 秋の一般公開 案内チラシ

芦浦観音寺

秋の一般公開

阿弥陀堂・書院保存修復中:工事概要の説明あり
重要文化財指定



琵琶湖の
船奉行

日本遺産

当日はボランティアガイドならびに
市歴史文化財課もご案内します



呈茶席
日本舞踊他あり

草津市公認 マスコットキャラクター
「たび丸」

国指定の史跡

日時 11月23日(祝・土)
10時～15時 最終受付14時30分

場所 芦浦観音寺 (草津市芦浦町)

交通 JR草津駅西口より近江バス
■門前に十数台駐車可能

琵琶湖博物館物館行き 芦浦バス停下車 徒歩5分
拝観料 300円 (通常は要予約)

主催 草津市観光ボランティアガイド協会
問い合わせ 077-563-3700(くさつ夢本陣)

近江鉄道バス

草津駅西口発		芦浦発	
琵琶湖博物館行		草津駅西口行	
	土日祝休		土日祝休
8時	00	8時	01 34
9時		9時	00
10時	00 30	10時	06 36
11時	30	11時	06
12時	00 30	12時	06 36
13時	30	13時	01
14時	00 30	14時	06 36
15時	0	15時	06
16時	00 30	16時	06 36
17時	00	17時	01 36



船印



各団体との連携による活動促進（案）

➡ みどり燦々会	庭園樹木（剪定）	除草	文化財環境保全活動
➡ えにしの会	竹林整備（竹間伐）	除草	
➡ ガイド協会	一般公開による文化財の認知度向上		
➡ 草津市（行政）	文化財保護・保全		

活動促進（案）

＊それぞれのグループが他のグループの活動に参加する事で、新しい気付きを求める

（例）一般公開（春・秋）には各団体も参加して芦浦観音寺イベントを盛り上げる

＜盛り上げ方法＞ ①庭の剪定について説明を行う

②一般公開日にイベントを実施する

③芦浦観音寺境内での誘導。希望によってガイドをする 等。

<まとめ>

活動が関連する「団体・組織」との協働を目指して

活動している施設などが同じであれば、それぞれの組織の相乗効果で、更に発展、向上する事が期待できます。



活動団体の発展よし！